

令和 5 年度事業報告書 <デイサービスセンターあじさい園>

テーマ：福祉・医療・介護の地域共生社会の中で、安全で安心な魅力ある法人サービスを目指す

サブテーマ：利用者、家族から親しまれ、頼られる施設づくり

1. 利用者がその人らしく、過ごせるサービスの実施

- ①申し送りノートに加えて昼のミーティングを行う事により、職員間の情報共有が密に行え、新しい利用者情報を漏れること無くサービスに反映できた。
- ②コロナ以降、食事の行事は自粛していたが、鍋会などの企画は職員の関わり方を変えて、一部工夫して再開でき、利用者の満足につなげることができた。まだまだ、近隣では新型コロナが発生していたので、利用者の希望する外出行事は行えませんでした。
- ③転倒・転落事故は昨年度と同件数だったが、積極的にヒヤリハットに気づき職員間で共有し、事故検証では安全対策担当者が介入し対策を立てたことで、骨折や入院に至る重大なアクシデントは 1 件に留めることができた（昨年度は 4 件）。

2. 稼働率を上げ、安定した経営に繋げていく

- ①5 月より新型コロナウイルス感染症が 2 類から 5 類に移行したが、引き続き感染予防対策を実施することで、新型コロナ感染拡大による休業には至らず、営業を継続でき、稼働率も徐々に向上した。ケアマネとの連絡を密に行い担当利用者を通じて信頼関係を築き、事業所の空き状況なども毎月情報発信し、稼働率を高めることができた。
- ②坂井市の介護予防教室(雄島地区)を受託し、1 年間開催した。また、教室受託は累計 6 年目となり、あじさい園を地域に認知してもらうことができ、参加者家族がデイの利用に繋がったケースもあった。（令和 5 年度 1 名）
- ③一般型から認知症対応型への変更を提案し、利用変更につながった（令和 5 年度 6 名）。

3. 人材育成により質の高いサービスを実施する。

- ①全職員が週替わりで接遇目標を立て、毎朝ミーティングで唱和することで、チーム内の雰囲気をよく保つことができた。
- ②異動や入職で新しい職員を複数迎えたが、OJT の機会を多く持ち、順調に介護技術や知識の向上につなげることができた（令和 5 年度 4 名）。
- ③研修は新型コロナ以降 WEB 開催が増えたこともあり、集合研修には参加できなかった職員にも広く研修の機会を提供でき、職員のスキルアップの機会を得ることができた。